

愛西のために
できること、
すべて

平成生まれ 36 歳

佐々木 りょうへい

2026年夏ver.

後援会だより

ごあいさつ

初めての挑戦となった4月の市議会議員選挙では、愛西市政に送り出していただきありがとうございました。ご期待くださった皆さまの想いに応えていけるよう、地域の課題や日々寄せられる声に、一つひとつ丁寧に向き合っていきたいと考えています。選挙中掲げた3つの約束「魅力発信」「人材育成」「安心安全」を軸に、これからの4年間、精いっぱい努めてまいります。



活動を続ける中で、生活の不安や、やりきれない想いを抱えている方がいらっしゃることを改めて知りました。行き場のない想いや声を、気兼ねなく届けていただける存在でありたいと考えています。

就任後はすぐに6月定例会に臨み、一般質問にも登壇いたしました。皆さまとともに、愛西市の未来をつくってまいります。

愛西市議会議員 佐々木遼平

日常活動

消防訓練発表会



介護現場での
お悩みを伺いました



労働組合
清掃活動



駅頭にてハラスメント防止
啓発活動に参加

プロフィール

平成元年8月28日 愛知県弥富市生まれ。
とみよし幼稚園（愛西市大野町山）、五条高校、立命館大学卒業後、株式会社JTB中部、株式会社岐阜放送でのアナウンサー経験を経て、JT 日本たばこ産業株式会社勤務。労働組合では、フード連合中京地区副議長に就任。

プロフィール
詳細はこちら



発行者：佐々木りょうへい後援会

住所：愛西市諏訪町中杵233 BREEZE BELL601

電話：090-8076-0039

お困りごとや、
ご意見などLINEで
お気軽にご連絡ください



6月定例会 一般質問

※答弁は、一部抜粋

6月1日(月)の一般質問に登壇し、愛知県が令和8年に新設した不妊治療補助制度（先進医療）の導入について質問しました。

Q 2050年までの愛西市の人口推計は？

A 2035年 約5万1,600人、2050年約4万2,300人と見込まれ、少子化の進行が予測される。

※国立社会保障・人口問題研究所の推計

Q 愛知県の不妊治療費助成制度（生殖補助医療の先進医療費7割を、県市が補助）を踏まえ、市として不妊治療支援の再構築を検討する考えは？

A 制度に関する問合せや要望は担当課に寄せられていない。妊娠の可能性を高めるために、保険適用外となる先進医療の不妊治療が必要となる場合があることは理解しているが、本事業を実施する考えは現時点ではない。

答弁を受けて

不妊治療は、ひとりで悩みを抱えている方も多く、精神的にも経済的にも負担が大きい分野です。行政として、問い合わせを待つのではなく、声が届く前に市民のニーズを先回りして捉え、当事者に寄り添う姿勢を求めます、と想いをお伝えしました。

不妊治療の補助制度について



地域の活力維持の為にも、少子化は市が真剣に向かい合うべき重要な課題です。だからこそ、「子どもを授かってからの子育て支援」と同じくらい、「子どもを授かるための支援」も大切にしていける必要があると考えています。子どもを望む方が1日でも早く授かれるよう、引き続き声を届けます。

6月定例会議案 主な内容

令和8年度 愛西市一般会計補正予算

- 給食センター包括業務委託
- 津島市と連携した観光ツアー企画
- キャリアスクールプロジェクト
- 永和地区公民館の空調修理
- 就農者への4種の補助金支給
- 生活保護者への追加給付

佐々木りょうへい 議会での役割

会派：あいさい市民の会

所属：建設福祉委員会、議会広報特別委員会、海部地区急病診療所組合

SNS

議会だよりの作成にも携わっています→
分かりやすい記事づくりを頑張ります！



Facebook



@SASAKI.RYOHEI828KOSHIZUNEGI

Instagram

日々の活動や、愛西のグルメ情報や魅力、市民の皆さまからお聞きした声をご紹介します！

